

いろはレクチャー

# 文楽

知ると  
もつと、  
面白い。

平成24年10月27日(土)

14:00開演 / 18:00開演 (開場は開演の30分前)

イムズホール (イムズ9F)

【入場料】(全席自由)

[前売]一般1,500円 [当日]一般2,000円

[前売・当日]学生1,000円 (公演当日は要学生証提示)

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

【チケット取扱所】 9月1日(土)発売開始

ローソンチケット ☎0570-084-008 (Lコード89227)

チケットぴあ ☎0570-02-9999 (Pコード422-944)

アートリエ(福岡アジア美術館7F) ☎092-281-0103

ローチケドットコム <http://l-tike.com/>

主催：(公財)福岡市文化芸術振興財団 / 福岡市

共催：(公財)福岡文化財団

協力：(公財)文楽協会 / キャナルシティ博多 / 博多座 / TNC テレビ西日本

特別協力：イムズ



お問い合わせ



(公財)福岡市文化芸術振興財団  
☎092-263-6265

大夫 (人形) 竹本 相子大夫

三味線 (三味線) 豊澤 龍爾

人形 (人形) 吉田 勘市

●実演 「五条橋」 牛若丸 / 弁慶



関連イベント

日本伝統芸能 in CANAL「文楽いろはレクチャー」

10月27日(土) キャナルシティ博多B1F サンプラザステージ / 11:30~ / 入場無料

「名作文楽・公演記録特別上映会」

11月4日(日) 福岡アジア美術館8F あじびホール / ①10:30 ②14:00 / 入場無料

※詳細は裏面をご覧ください。



大夫・三味線・人形遣いの三業が一体となって表現する日本の文楽は、世界でも比類のない人形芸術です。大夫は、一人で老若男女や身分の別を語り分け、情景の描写や人情の機微をうたいます。三味線は、大夫と気持ちをひとつにして“心”を弾き、繊細な音色で大夫の語りを助けます。人形遣いは、三人のびったり合った呼吸により人形に生命を吹き込んで、人形ならではの美しさで魅せてくれます。そこに表現されたものは、人間の本质——。文楽独特の誇張された表現のなかに、人間本来の姿を鋭く描き出しているからこそ、見る者に感銘を与える力をもっているのです。

本公演では、文楽の本場・大阪の人形浄瑠璃文楽座技芸員が、大夫の語り・三味線演奏・人形の動きなど文楽の見どころをわかりやすく解説。大夫や人形遣いの「技」を体験できるコーナーもあり、文楽のことを知らなくても楽しめる内容が満載です！日本人の美意識が詰まった、文楽の魅力にふれてみませんか。



「五条橋」牛若丸／弁慶  
～ 平家打倒を誓う「運命の出会い」  
「京の五条橋で、牛若丸が武蔵坊弁慶を家来にする」という有名な故事を文楽にしたもので、もとは時代物の名作「鬼一法眼三略巻」の五段目「五条橋の段」にあたる場面です。登場人物を牛若丸と弁慶だけに絞り、「二人の出会い」を単独で上演することもあります。対照的な二人の人物を表現する義太夫師の巧みさ、人形ならではのダイナミックな動きが見どころです。

時は、平治の乱で勝利した平清盛による平家の天下。源氏の再興を狙う牛若丸は、家来にふさわしい屈強な勇士を採って、毎夜五条橋にあらわれます。一方、比叡山で修業中の弁慶は、五条橋の不審な人物の噂を聞きつけ、ある晩勝負にやってきました。鎧をつけ物々しく武装した弁慶に比べ、橋の上にいるのは、笠を被るほっそりとした女。女のような姿のその人物こそ、牛若丸でした。橋の上を自由自在に飛び回る身軽な牛若丸には、なごなたの名手弁慶もかなわずついに降参します。志を同じくするが別々に生きてきた二人はついに出会い、平家打倒を誓って主従関係を結ぶのでした。

◎出演

大夫  
竹本 相子大夫  
(たけもとあいでさやう)

三味線  
豊澤 龍爾  
(とよざわりょうじ)

人形  
吉田 勘市  
(よしだかんいち)

◎会場のご案内

イズムホール (福岡市中央区天神1-7-11 イズム9F)  
地下鉄天神駅/西鉄福岡(天神)駅 徒歩3分



「博多座文楽公演」 12月22(土)・23日(日)開催決定！  
チケット発売：10月20日(土)10:00より電話予約・インターネット販売開始。演目、出演者、料金など詳細は、博多座までお問い合わせください。  
博多座電話予約センター：092-263-5555(受付：毎日10:00～18:00) 博多座ホームページ：http://www.hakataza.co.jp/

関連イベント①日本伝統芸能 in CANAL「文楽いろはレクチャー」  
キャナルシティで文楽！お気軽に文楽が体感できます。  
10月27日(土) キャナルシティ博多B1F サンブラザステージ 11:30～12:15 / 入場無料  
出演：竹本 相子大夫／野澤 喜一郎／吉田 勘市  
※雨天時はキャナルシティ劇場(ノースビル4F)・エントランスにて行います。

関連イベント②「名作文楽・公演記録 特別上映会」  
大阪・国立文楽劇場での記録用公演映像を上映します。  
今回は、時代物の醍醐味がたっぷり楽しめる「鬼一法眼三略巻」。  
国立文楽劇場公演ならではの完成された文楽の世界観、迫力ある映像美が見どころです。  
よく知られた「いかつい弁慶」ではなく、幼少時代のちんちゃん弁慶は必見ですよ！  
文楽いろはレクチャーでの内容を確認するもよし、人間国宝の妙味を楽しむもよし。名人たちの至芸をご鑑賞ください。  
11月4日(日) 福岡アジア美術館8F あじびホール ①10:30 ②14:00 上映時間：約2時間 / 入場無料(要事前申込)  
「鬼一法眼三略巻」より「清盛館の段」「菊畑の段」「五条橋の段」  
豊竹咲大夫 [3代目] 豊竹呂勢大夫 鶴澤清治(人間国宝) [6代目] 鶴澤燕三  
源牛若丸/吉田和生 武蔵坊弁慶/桐竹勘十郎 吉岡鬼一法眼/吉田玉女 ほか  
協力：国立文楽劇場/人形浄瑠璃文楽座むつみ会/(公財)文楽協会

文楽いろはレクチャーを  
ご覧になった次はこれ！

参加人数・希望時間・代表者氏名・住所・電話番号を明記のうえ、フaxes・Eメールまたはお電話にて下記までお申込みください。